

報道関係者各位
(プレスリリース)

2015年12月7日

株式会社 アイリッジ
代表取締役社長 小田 健太郎
(コード番号:3917 東証マザーズ)

**アイリッジ テクノロジー企業ランキングプログラム
第14回「アジア太平洋地域テクノロジー Fast500」で233位を受賞
～ 直近3年間で、190%の売上高成長 ～**

株式会社アイリッジ(本社:東京都港区、代表取締役社長:小田健太郎、以下「アイリッジ」)は、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド(以下、DTTL)が発表したテクノロジー・メディア・テレコミュニケーション(以下、TMT)業界の収益(売上高)成長率ランキング、第14回「アジア太平洋地域テクノロジー Fast 500」において、直近3決算期の成長率190%を記録し、500位中233位を受賞いたしましたので、お知らせいたします(ランキングの詳細は、<http://www.deloitte.com/jp/fast500/2015>をご覧ください)。

このランキングはDTTLが世界3地域(北米・欧州・アジア太平洋地域)で実施するプログラムで、アジア太平洋地域は今年14回目を迎えます。オーストラリア、中国、インド、韓国、マレーシア、ニュージーランド、シンガポール、台湾、そして日本からの、上場・未上場企業を問わず、TMT業界に含まれる企業の応募をもとに、直近3決算期の収益(売上高)に基づく成長率の上位500社がランキングされ、企業の成長性や成功を知る上でのTMT業界におけるベンチマークの役割を果たしています(プログラムの詳細は、<http://www.deloitte.com/jp/fast500/2015>をご覧ください)。

なお、当社は第13回「デロイト トウシュ トーマツ リミテッド 日本テクノロジー Fast50」においても、50位中5位を受賞しております(詳細は、<http://www2.deloitte.com/jp/fast50>をご覧ください)。

【アイリッジの成長要因】

アイリッジは、「インターネットを通じて、世の中に新しい価値を創り続けていく」という理念のもと、企業のO2O支援を行っている会社です。

当社のO2O支援はスマートフォンを利用したもので、①位置情報×プッシュ通知のO2Oソリューション「popinfo(ポップインフォ)」の提供、②popinfoを搭載したO2Oアプリの企画・開発に加え、③集客・販促等を中心とした企画・運用支援(O2Oマーケティング)を行っております。

アイリッジの成長要因としては、以下の外部要因と内部要因があげられます。

＜外部要因＞

外部要因として、スマートフォンの普及と、それに伴い企業のスマートフォンを活用したマーケティング活動が活発化・浸透してきたことが、アイリッジの成長の後押しになっております。

今後もスマートフォンの普及率の上昇が見込まれており、外部環境は良好に推移するものと見込んでおります。

スマートフォンの普及率

2015年3月末の普及率 54.1%^(注1)

2019年3月末の普及率(予測) 70.9%^(注2)

＜内部要因＞

効果的なO2Oを実現するためには、O2Oアプリの開発・リリース後も、『新店舗のオープン、季節的なイベント等に応じたアプリ内企画』、『利便性向上や機能追加等』に継続的に取り組み、アプリを通じた企業とユーザーとのコミュニケーションの活性化を図ることが重要となります。

アイリッジは、O2Oソリューション popinfo の提供やアプリ開発に加え、O2Oマーケティングの支援まで包括的に手掛けていることが特徴となります。

アプリ開発にあたって、またアプリ・リリース後も、技術力と企画力を両輪として、ワンストップでサービスを提供できる会社であることが、成長の要因になっております。

(注1) 出所:株式会社MM総研「スマートフォン契約数および端末別の月額利用料金・通信量(2015年3月)」

(注2) 出所:株式会社MM総研「スマートフォン市場規模の推移・予測(2014年4月)」

足元では、popinfo やアイリッジの開発するO2Oアプリは、小売や商業施設等に限らず、金融機関に採用されるなど、コミュニケーションツールとして、業種を問わず、ご活用いただいております。

また、集客・販促機能に留まらず、ユーザーに快適な消費体験を提供するアプリ決済や、より精度の高い情報配信を行うためのターゲティング機能の整備等、サービスラインナップの拡充を図っております。

アイリッジは今後も最先端のO2Oソリューションの提供を通じて、企業とユーザーとのコミュニケーションの活性化を図り、企業のO2O支援、コミュニケーション支援に取り組み、さらなる成長を目指してまいります。

■本件のお問い合わせ

株式会社アイリッジ 担当:広報担当

e-mail: pr@iridge.jp Tel 03-6441-2325 FAX 03-6441-2425